



楷

第五十六号

岡山大学
附属図書館報
OKAYAMA UNIVERSITY
LIBRARY BULLETIN

KAI

No.56

2013
FEBRUARY

<写真>

じゃぼあん
葉村ノ如シ實
橙ヨリ大ニシテ
長シ不可食

「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

— 目 次 —

- 自ら変革し、ハードもソフトも充実した岡山大学附属図書館へ
（附属図書館長 神崎浩）…………… p.2
- これから博士の学位を申請する皆様へ（附属図書館事務部長 富田健市）…………… p.5
- 博士学位論文および学内プロジェクト研究成果論文の公開原則義務化一年目の現状
（情報管理課）… p.6
- 「語学学習コーナー」について（学術情報サービス課）…………… p.7
- マスカット…………… p.8
池田家文庫絵図展報告、池田家文庫パンフレット、池田家文庫絵図公開データベース
改修のお知らせ ほか
- 会議・研修・編集委員会から …………… p.16

自ら変革し、ハードもソフトも充実した 岡山大学附属図書館へ

神 崎 浩

はじめに

2010年12月に文部科学省の科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会の審議としてまとめられた『大学図書館の整備について-変革する大学にあって求められる大学図書館像-』の中に次のように記されている。

大学図書館は、大学における学生の学習や大学が行う高等教育及び学術研究活動全般を支える重要な学術情報基盤の役割を有しており、大学の教育研究にとって不可欠な中核を成し、総合的な機能を担う機関の一つである。

大学図書館は、これまで、大学の教育研究に関わる学術情報の体系的な収集、蓄積、提供を行うことで、教育研究に対する支援機能を担ってきた。また、大学図書館に蓄積された学術情報は、検索可能な形態で公開されることにより社会全体の共有財産として、学術情報基盤を構築してきた。

学術情報基盤としての大学図書館が果たすこのような基本的機能の重要性は変わるものではないが、現在の大学及び大学図書館を巡る大きな環境変化の中で、大学図書館は多様な課題に直面している。

ここで示されている大学及び大学図書館を巡る大きな環境変化として（1）大学の教育機能に対する社会的要請の急速な高まり（2）教員の研究業績評価への厳格さの要求（3）学術情報流通におけるインターネットの役割の増加 が挙げられている。

大学図書館はそれぞれが独自に、また国立情報学研究所（NII）や他大学附属図書館との横のつながりを活かして、これら3つの大きな環境変化に対応しようとしている。岡山大学附属図書館も新たな図書館像を目指した変革を模索し始めており、その一端をここでみなさんに紹介させていただきたい。

ユーザーに来てもらえる図書館へ

上記のように学術情報電子化の発展に伴い、教員の多くは図書館建物の必要性をあまり感じなくなってきたこと、若者の活字離れが叫ばれるようになり学生の図書館利用形態が変化してきたこと等から、大学図書館はハード面・ソフト面の両面でユーザーに来てもらえる図書館へ自ら変革することを模索している。



中央図書館

岡山大学の中央図書館本館は建物の老朽化に伴い、改修を以前から計画してきたが、文部科学省からの予算配分による改修が決定した。現在、大学のシンボルである時計塔を中心とする外観を活かした改修にむけたプランの最終案が固まりつつあるが、そのポイントを挙げると、中央入口付近の増築、耐震性の増強、ラーニングコモンズと称される学習場所の充実、すぐ横に位置する福利厚生施設へのアクセスの改善である。

岡山大学の中央図書館は時計塔がシンボルとなっているものの、中央入口付近は奥行きが狭く10,000人を超える学生数を誇る総合大学の附属図書館の入口としてはあまりにも不十分であり、ユーザーが来たくなる状況とは言えなかったが、今回入口奥部分を増築することにより、より開放的でユーザーが入りたくなる建物へ変わろうとしている。また、図書館は学習の場として利用されてきたが、一人静かに学習する場のみの提供から、従来に加えてラーニングコモンズと呼ばれる『集い、議論し、共に学ぶ場』をも提供する建物に変わろうとしており、そのような場の提供ができるよう改修が行われる。さらに、本館東側に新たな入口を設けて東隣に位置する北福利厚生施設とのアクセスを改善して、ブックストア・食堂との連携を強化してユーザーの利便性を高めることを目指そうとしている。

一方、鹿田キャンパスの鹿田分館の改修も行われることが決定し、本館と同じようなコンセプトに医歯系ユーザーに特化したものを加えた改修案が練られている。

このように岡山大学の附属図書館が有する2つの建物の改修が決定し、ハード面の変革はかなり達成されようとしているが、ユーザーに来てもらえる図書館になるためには、ソフト面での変革も一体的に行われることが不可欠である。



鹿田分館

学生教育への積極的な関与

上述のように図書館は学習の場を提供してきたが、図書館の管理運営に直接関わってきたスタッフに教員は図書館長たった一人であった。学生教育を充実させるために教養教育改革をはじめとする様々な教育改革や新たな教育プロジェクトの立ち上げが岡山大学でも行われてきたが、それを企画発案してきた教員組織と図書館との連携は必ずしも十分とは言えず、それらの改革・プロジェクトに即した図書館対応は十分とは言えなかった。すなわち図書館および図書館職員のスキルを学生教育に十分活かしかれてこなかったと分析できる。そこで、来年度から教員の中から副館長（2名を予定）を選出し、館長を補佐することにより図書館がシームレスに大学教育に貢献することを目指すことにした。

館長・副館長の3名が教員の立場で全学的にアンテナを張り巡らして情報を収集し、迅速にその情報に対応した図書館運営を行うことを目標としている。

もちろんソフト面で図書館を充実させるためには、管理運営体制の充実に加えて、図書館職員にこれまで以上に自らのスキルを磨き学生教育に活かせる工夫を新しい建物で実施してもら

うことが不可欠であると考えている。

最後に

岡山大学附属図書館がハード面・ソフト面から今変わろうとしている一端を紹介させていただいたが、岡山大学としてこの図書館の変革を活かすために最も必要なものは教員の教育に対する意識改革だと思っている。

学士力という言葉が作られ、それを身につけるために教育システムの改革やプロジェクトの発案が行われているが、それを実施して達成するためには、教員がいかに学生に学習する姿勢を身につけさせるかが大事だと思う。

図書館を使った自学自習、グループ学習を奨むけることにより学生の学習姿勢が変化した一例を最後にお示ししたい。私は7年前から農学部1回生全員に対する講義を担当し始めたが、毎回レポートを提出させてきた。そのレポート作成に対して、必ず参考書を引用することという指摘をし、図書館の蔵書を示してそれらのいずれかを使うことを指示し、図書館資料の利用を促進させてきた。さらにここ数年、複数の学生で学習した成果を提出することを促したところ、図書館にグループで出かけディスカッションした上で共通のレポートを提出する学生が増えた上に、そのグループレポートの内容がすばらしく、またそれを行った学生全員から「レポートは一人で書くものと思っていたが、友達と一緒に勉強することにより理解度が急速に深まった」とコメントをもらった。

教育とは学生に自ら学ぶ姿勢を身につけさせることであり、教員の工夫で学生は大きく飛躍できると信じている。岡山大学の教員のみなさんがモチベーションを高く持ちつつ教育に携わっていただき、その取り組みが推進できるよう図書館が関わっていくようにしたい。

(かんざき・ひろし 附属図書館長)

これから博士の学位を申請する皆様へ

富田 健市

平成25年4月1日付けで学位規則（昭和28年文部省令第9号）の改正が施行されます。これは、平成25年1月に開催された中央教育審議会大学分科会において、文部科学大臣から「学位規則の改正について」の諮問が行われ、これを認める答申が出されたことによるものです。

今回の改正の理由は、「博士の学位を授与された者は博士論文を印刷公表することとされているところ、教育研究成果の電子化及びオープンアクセスの推進の観点から、印刷公表に代えて、インターネットの利用により公表する必要がある。あわせて、博士論文要旨等の公表についても、インターネットの利用による公表とする必要がある。」ためとなっています。

この改正により、施行後に博士の学位を取得した場合、取得者が1年以内に大学の協力を得て、インターネットに学位の授与に係る論文を公表しなくてはなりません。さらに、国立国会図書館にも電子ファイルを提供し、同館でも利用に供されることとなります。ただし、すでにインターネット上で論文を公表している場合にはその必要はありません。また、大学から期限内に公表できないやむを得ない事由があると認められた場合は、自身で内容を要約したものを代わりとすることもできますが、その事由の解消後は速やかに全文を公表しなくてはなりません。

岡山大学では、すでに平成23年11月の役員政策会議で、学長裁定により博士の学位論文については岡山大学学術成果リポジトリから公表することになっています。このため今回の改正によっても基本的なスタンスに変更はありませんが、運用の根拠が学長裁定から学位規則そのものへと移行することで、変わる部分もあります。これまで本人の申請があれば公開を許諾しないことが可能でしたが、大学による申請理由の認証が必要になることです。申請理由として何を認めるかは、今後大学側で検討されることとなりますが、今回の改正の趣旨を考えると、これまで認められてきたものも見直しが必要となります。例えば、学術雑誌掲載論文で共著のものが学位論文に含まれている場合、これまでは紙の論文として公表するための著作権処理を行うだけで良く、インターネットでの公表についての了解がなくとも学位取得のものには問題がありませんでした。しかし、今回の改正でインターネットでの公表が前提になったことから、学位申請者自身が共著者から事前に了解を得ていることが必要となり、了解を得ていないことは理由にはなりません。ぜひ、ご自身の博士論文がインターネットで問題なく公表できるかどうかを検証しておいてください。問題があった場合は、それが申請理由として認められるものかどうかを確認し、該当しない場合には自身でクリアしておいてください。

なお、国立国会図書館への提供については、国立情報学研究所とも連携することにより、岡山大学学術成果リポジトリに登録しておけば自動的に提供されるシステムを構築中ですので、学位取得者は何もする必要はありません。

今回の改正により、平成25年4月1日以降に国内で取得された博士論文は原則として全てインターネットで公表されます。岡山大学で博士の学位を申請される方には、その中で存在感のある論文を発信いただきたいと思いますし、附属図書館としても強力に支援していきます。

（とみた・けんいち 附属図書館事務部長）

博士学位論文および学内プロジェクト研究 成果論文の公開原則義務化一年目の現状

情報管理課

平成23年11月16日の役員政策会議で、岡山大学の教育・研究成果の情報発信の拡充のために、本学の博士学位論文および学内プロジェクト研究成果論文のインターネットによる無償公開を原則義務化することが決定されました。(平成23年12月部局連絡会で報告)

義務化一年目の現状について報告します。

<博士学位論文>

義務化決定から申請時期までの期間が短かったため、平成23年度については、各研究科教務担当へ周知のみをお願いし、取得者から図書館に登録許諾確認書およびデータを任意で提出していただきました。

平成24年3月取得者については、150名のうち38名から登録許諾確認書の提出があり、そのうち許諾いただいたのは34名でした。出版社の方針により機関リポジトリでの公開が認められない2件を除き、32件について登録が完了しております。(非公開期間の設定があるものを含みます。)

平成24年9月授与分からは、登録許諾確認書の提出は全員に求め、各研究科教務担当で登録許諾確認書とデータのとりまとめをしていただくことになりました。

平成24年9月取得者については54名のうち52名(うち許諾者40名)から、平成24年12月取得者については14名全員(うち許諾者14名)から登録許諾確認書の提出がありました。

また、前ページでも説明がありますとおり、平成25年4月1日付けで学位規則の改正が予定されており、学位取得者はインターネットでの博士論文公表が義務化されます。

<学内プロジェクト>

各プロジェクトから論文リストを提出いただき、それを元に図書館でリポジトリ登録の可否を調査したうえで、各プロジェクトへ登録可能な論文データの提供を依頼しました。データが提供された論文から登録公開しています。

リスト提供論文件数は384件、登録可能な論文件数268件、データ提供件数72件でした。

データが提供できない理由としては、「著者最終原稿を残していない」「共著者の許諾が得られない」「現地研究員の許諾が得られない」などがありました。

平成25年2月20日現在、合計72件を登録しています。

プロジェクトごとの登録件数は以下のとおりです。

- ・異分野融合先端研究コア 24件
- ・インド感染症共同研究 13件
- ・ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点 8件
- ・エネルギー環境新素材拠点 27件
- ・極限量子研究コア 0件
- ・ウーマン・テニユア・トラック 0件

「語学学習コーナー」について

学術情報サービス課

岡山大学附属図書館では平成19年度より「TOEIC コーナー」を設置して TOEIC の資料を提供してきました。利用学生から「TOEIC のみではなくその他の言語の語学資料も置いてほしい」との要望があり、多言語資料を追加し、平成24年度より名称を『語学学習コーナー』に変更しました。岡山大学ディプロマポリシーに沿うべく、言語教育センター・留学生センターの教員には選書にご協力いただき、コーナーの充実をはかっています。

配架している資料は、TOEIC・TOEFL・仏検・独検・日本語検定などの参考書類、Oxford Bookworms などの多読用資料、留学生のための日本語テキストや日本文化を紹介する資料等です。平成23年度末の配架資料は341冊でしたが、平成25年2月現在927冊に増加しました。平成25年度より履修時間が増加する語学講義に対応すべく、さらに整備をすすめていきます。

また、学習サポート資料として2カ国語版の視聴覚資料（DVD）を購入し、平成25年4月にはご利用いただけるよう準備しています。新館1階AVコーナー機器類の更新も行いましたので、学習しやすい環境となっています。一般教育棟イングリッシュ・カフェやLL教室とともに語学学習にご活用ください。

語学学習コーナーは新館1階（AVブース付近）に設置しています。

CD付の資料はブックポケットに「付属CD有り」と書いてあります。付属CDの利用を希望される場合はカウンターにお申出ください。館内で利用される場合も貸出手続きが必要となりますので、よろしくご協力をお願いします。



マスカット

池田家文庫絵図展報告（中央図書館）

テーマ：日本六十余州図の世界

期日：平成24年11月10日（土）～

11月25日（日）（開催日：14日間）

会場：岡山シティミュージアム5F 展示室

入場者：1,892名



記念行事

日時：11月18日（日）

記念講演会

テーマ：徳川家光と日本

講師：藤井譲治（京都大学名誉教授）

入場者：80名



日本六十余州図から日本各地の絵図を紹介するとともに、備前・備中の国絵図も展示しました。

床に敷かれた「日本大絵図」（複製）にも興味を持たれた方が多くいらっしゃいました。

池田家文庫パンフレット（中央図書館）

附属図書館では、所蔵する貴重資料「池田家文庫」のパンフレットを作成しました。パンフレットには英文も併記していますので、岡山大学へ来訪された方への紹介等にご活用ください。

池田家文庫
The Ikeda Family Collection

池田家文庫
江戸時代（1603～1867）に書かれた岡山
藩家老の書翰、公判・公儀の御用帳・年
名などの古文書、絵巻、書物を中心とし、書
数は10万点を超え、複製資料の確保も完了し
て数層・密蔵に提供されている。岡山大学
附属岡山大学図書館が、岡山藩家老の書翰、
絵巻、書物等

The Ikeda Family Collection
Heisei 24

This collection comprises ancient
manuscripts, pictures and old books
handed down in the Ikeda family, which
governed the Okayama domain (the
southern part of present-day Okayama
Prefecture) during the Edo period (1603–
1867). Containing more than 100,000 items,
it is utilized for research and education at
one of Japan's best preserved repositories of
feudal domain books. The collection was
donated to the Okayama University upon
its founding in 1946, and is housed in its
Central Library.
http://www.lib.okayama-u.ac.jp/

御用帳
文政5年（1823）

御用帳（御用帳）は岡山藩家老の書翰に
よって文政5年（1823）に完成した。
徳川家光の御用帳の複製として制作さ
れた。御用帳は岡山藩家老の御用帳を
一冊複製し、複製されたものを、岡山
大学附属岡山大学図書館が所蔵するこ
とになった。岡山大学附属岡山大学
附属岡山大学図書館が所蔵するこ
とになった。

Ikeda-no Garden (Gokusan-ji
Bunkyo) 1963

Ikeda-no Garden (Gokusan-ji) was established
in Genroku 13 (1708) by Ikeda Naonaka,
the lord of the Ikeda domain.
The garden was initially used for
receptions by the lord, with such events as
Confucian classes, tea parties and
musical acts were attended by his retainers
as well. Sometimes, it was also open to
the general public. The garden underwent
frequent remodeling to suit the taste of
each generation of lords, and this picture
depicts what it looked like in the late Edo
period. The locations of plants, ponds,
streams and the houses are quite similar to
those in the present day.

岡山大学附属図書館
Okayama University Library
〒700-8501 岡山県北区内山本町1-1
5-1-1 Yamahiro-cho, Kita-Ku, Okayama 700-8501, Japan
TEL: 086(251)7322 FAX: 086(251)4092
E-mail: lib@lib.okayama-u.ac.jp
URL: http://www.lib.okayama-u.ac.jp/

問合せ先：附属図書館利用者支援グループ（TEL：086-251-7322）

池田家文庫絵図公開データベース改修のお知らせ（中央図書館）

岡山大学附属図書館所蔵の貴重資料池田家文庫の絵図をインターネットで公開しておりますが、このたび一覧メニューを追加するなどより使いやすいよう改修を行いました。ぜひご利用ください。

主な改修点は以下のとおりです。

- ・高精細画像一覧を追加

画面左の一覧メニューに高精細画像一覧を追加しました。

また、一覧表示にも高精細画像ファイルの項目を追加し、高精細画像の有無が確認できるようになりました。（高精細画像ファイルがあるもののみ項目が表示されます。）

- ・絵図ベストセレクションのページを作成

一覧メニューに絵図ベストセレクションを追加し、池田家文庫を代表する絵図を集めました。

- ・一覧表示画面で表示件数が選択可能に

一覧表示画面で表示件数を選択できるようになりました。

20件、50件、100件から選択できます。

岡山大学 池田家文庫
絵図公開データベースシステム

池田家文庫絵図公開トップ | 岡山大学 | 岡大図書館

検索

- キーワード検索
- 詳細検索

一覧

- 絵図分類名一覧
- 高精細画像一覧 (728)**
- 絵図ベストセレクション

このデータベースについて

絵図ベストセレクション

ここに絵図展やワークショップで利用する機会が多い、池田家文庫を代表する絵図を集めました。画像をクリックすると高精細画像へリンクします。

備前国図 T1-5 慶長年間(1596-1615)

現在知られる最も古い備前国の絵図。絵画的な古い画風で描かれており、慶長時代の絵図に間違いはないが、江戸幕府が作成を命じた慶長の国絵図との関係は不明である。岡山城下町は、天守閣や堀など総じて川西の景観は正確だが、川東は立派すぎて現実離れしている。下津井城・金川城・八塔寺などの絵画的表現も目を引く。

「復元元禄備前国絵図特別展示」を開催しました（中央図書館）

新館5階貴重資料展示室において、平成24年10月16日（火）～20日（土）の期間「復元元禄備前国絵図特別展示」を開催しました。

期間中は、復元絵図を始め通常は公開していない貴重資料もご覧いただきました。20日（土）は岡山大学のホームカミングデイも行われ、5日間で約160名の方にご覧いただきました。



岡山大学公開講座「池田家文庫絵図をもって岡山を歩こう パート2」報告（中央図書館）

第三回「後楽園を歩く」

講師：岡山県郷土文化財団

主任研究員 万城あき氏

日時：平成24年10月20日（土）

13時～15時

場所：岡山後楽園

参加者：21名

さわやかな天気の中、後楽園内外の北側部分を中心に歩きました。



第四回「岡山城外堀に沿って寺町を歩く」

講師：岡山市福祉援護課 猪原千恵氏

日時：平成24年12月1日（土）

13時～15時

場所：岡山市内番町交差点～

大雲寺交差点付近

参加者：20名

雨模様でしたが、岡山城下町にあったお寺を中心に歩きました。



資源植物科学研究所分館貴重書展 貸出展示について

資源植物科学研究所分館（以下「植物研分館」という。）には、その前身の大原農業研究所時代に収集した三種のコレクションがあり、これらを貴重文庫として毎年企画展示を行っているところです。

従来植物研分館を展示場所として展示していたのですが、今年度は従来の企画展示はそのまま開催しつつ、研究所外にも展示場所を広げ、出張展示として三つの図書館に貴重書展示を貸し出しました。貸し出し先は、倉敷中央高校図書室、倉敷古城池高校図書室、早島町立図書館の三館です。

展示内容ですが、高校図書室については過去の企画展示各回の内容から「18～19世紀の植物画と江戸時代の食事情」というテーマで新たに編集・構成してB1版4枚のパネルとして打ち出したものです。倉敷古城池高校図書室には展示内容をより深く理解できるようにと同じテーマの図書8冊も同時に貸し出しました。早島町立図書館の場合も今回はパネル展示のみとし、第三回企画展示「貴重書で見る東西の植物画 多年草編」を早島町立図書館の展示スペースに合わせて点数等を調整したもので、説明等のキャプションを豊富にし、親しみやすくしています。

岡山大学の中でも倉敷市にあり、かつ大学院生以上（と教職員）しか在籍していない農学系の研究所ということで、普段あまり親しみのない植物研と植物研分館かもしれませんが、こういう機会があれば地域住民の方々や高校生にも少しは興味を持ってもらえるのではないかと始めました。今後も積極的に行っていく予定です。



倉敷古城池高校図書室



早島町立図書館

資源植物科学研究所分館第七回貴重書企画展示 ” 「癒し」と植物” 実施報告

平成24年9月18日(火)～11月30日(金)に開催された植物研分館貴重書企画展示” 「癒し」と植物” は、無事終了しました。期間中147名の来館があり、アンケートによるとおおむね高評価を得ているようです。平成25年度の展示もよろしくお願ひします。

平成24年度第2回岡山大学学生と附属図書館長との懇談会(中央図書館)

平成24年12月7日(金)に農学部、文学部の学生8名の参加を得て、中央図書館学生館長懇談会を開催しました。

懇談会では、グループ学習室の利用、図書館の広報などについて積極的なご要望やご提言をいただきました。ご要望のあったことについては実現できることから対応させていただきます。

いただいたご要望のうち、今年度は試験期の8時開館の試行などを実現することができました。少しでも使いやすい図書館となるよう、学生のみなさまのご意見を運営に役立てていきたいと思ひますので、来年度以降の懇談会にもぜひご参加ください。

早朝開館実施報告(中央図書館)

中央図書館では平成25年1月21日(月)～2月12日(火)の平日、従来の開館時間を40分繰り上げ、8時から開館する早朝開館を実施しました。

かねてより、学生館長懇談会等で開館時間繰り上げについては要望をいただいております。繰り上げた時間(8時～8時40分の40分間)16日間で入館者数の合計は609人でした。好評につき来年度の試験期間にも早朝開館を実施する予定です。



オリエンテーション・データベース講習会開催報告**(中央図書館)**

中央図書館では、平成24年10月～11月にオリエンテーションを、平成24年10月にデータベース講習会を開催し、延べ84名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

	日時	名称	参加者数
1	10月3日(水) 18:00-19:00	新任教員向け図書館オリエンテーション	9
2	10月4日(木) 15:30-16:00	新任教員向け図書館オリエンテーション	1
3	10月10日(水) 18:00-19:30	図書館オリエンテーション(秋季新入生対象)	1
4	10月11日(木) 13:00-14:00	図書館ガイダンス(教育学部野邊ゼミ)	4
5	10月31日(水) 14:30-16:00	文献入手講座入門編 1	2
6	10月31日(水) 18:00-19:30	文献入手講座入門編 2	2
7	11月12日(月) 9:00-10:00	図書館ガイダンス(農学部環境生態学コース)	28
計			47

データベース講習会

	日時	名称	参加者数
1	10月4日(木) -5日(金)	SciFinder 講習会	34
2	10月5日(金)	LexisNexis 講習会	3
計			37

(鹿田分館)

鹿田分館では、平成25年1月にオリエンテーションを、平成24年10月～平成25年1月にデータベース講習会を開催し、延べ92名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

	日時	対象	参加者数
1	1月16日(水) 10:40-11:40	順正高等看護専門学校 実習生	69

データベース講習会

	日時	講習会名称	参加者数
1	10月19日(金) 18:00-19:00	文献検索の基礎	5
2	10月22日(月) 18:00-19:00	PubMed	6
3	10月26日(金) 18:00-19:00	医中誌 Web	2
4	10月29日(月) 18:00-19:00	CINAHL	1
5	1月21日(月) 13:30-15:00	文献検索の基礎、PubMed、医中誌 Web	9
計			23

新入生オリエンテーションのお知らせ（中央図書館）

中央図書館では新入生の皆さんを対象に図書館オリエンテーションを開催します。

大学生活では、レポートや授業などで図書館を使う機会がたくさんあります。ぜひこの機会に、図書館の利用方法をマスターしてください。

日程：平成25年4月8日（月）～12日（金）の5日間
 毎日1回開催 18:00～18:40

集合場所：中央図書館 玄関前

内容：①図書館案内ツアー
 ②利用方法とマナー
 ③蔵書検索デモ

※学生証を忘れずにお持ちください。

**新入生のみなさん
ご入学おめでとうございます**

**For learning suitable to
UNIVERSITY**

**Library Guidance
for New Students**

<p>○実施日程○ 4月8日～12日の5日間 毎日1回開催します。 18:00～18:40</p>	<p>○集合場所○ 中央図書館玄関前 <small>※西門正裏の時計塔の裏書庫です</small></p> <p>○持ってくる物○ 学生証</p>	<p>○実施内容○ ①蔵書案内ツアー ②利用方法とマナー ③蔵書検索デモ</p>
<p>岡大附属図書館では、新入生のみなさんを対象に図書館オリエンテーションを開催します。</p>	<p>大学生活では、レポート、授業などで図書館を使う機会がたくさんあります。ぜひ、この機会に図書館に来て利用方法をマスターしてください。</p>	<p>○お問い合わせ先○ 附属図書館 利用者支援グループ (1階カウンター) TEL:086-251-7322</p> <p><small>※上記以外での開催もご希望の場合は、ご連絡ください。</small></p>

平成24年度ブックハンティング報告（中央図書館）

平成24年11月21日（水）ジュンク堂書店岡山店にて、平成24年度ブックハンティング（学生選書ツアー）を実施しました。6名の学部学生の方にご参加いただき、専門図書、就活などのキャリア支援図書など120冊を選定し、品切れ等を除く115冊を購入しました。

なお、購入した図書は12月より本館1階おすすめ図書コーナー近くでミニ展示中です。学生目線で選択した図書は、新鮮で人気が高く多く利用されています。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。来年度も実施を予定しておりますので、ふるってご参加ください。



ミニ展示企画（中央図書館）

中央図書館では本館1階（新館への入り口付近）にてミニ展示を行っています。平成24年10月から平成25年2月までは以下のテーマで展示を行いました。

- 10月 「ノーベル賞」について読む
「追悼・丸谷才一」
- 12月 「ブックハンティング」
- 2月 「宇宙」を読む



図書館に来られた際にぜひご覧ください。

中学生職場体験の受け入れについて（中央図書館・鹿田分館）

2つの中学校から職場体験を受け入れました。生徒さんには、本の貸出・返却や目録業務など大学図書館の仕事を体験してもらいました。初めは緊張気味でしたが、徐々に雰囲気慣れで積極的に仕事に取り組んでくれました。

- ・岡山市立興除中学校、2名、平成24年11月7日（水）～9日（金）
- ・岡山大学教育学部附属中学校、6名、平成25年2月14日（木）～15日（金）



興除中学校（中央図書館）



附属中学校（中央図書館）



附属中学校（鹿田分館）

遡及入力事業（中央図書館）

中央図書館では書庫の資料及び新館6階六高文庫の資料をオンライン蔵書検索（OPAC）で利用できるようなデータ入力を進めています。

データ入力は学内経費の他、国立情報学研究所の遡及入力事業の支援を受けて行いました。3月末までに、書庫の資料は人文社会科学分野を中心に約72,000冊、六高文庫は和漢古書3,000冊の入力をする予定で、入力の済んだ資料から利用が可能となっています。

教員からの寄贈図書リスト

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

〈中央図書館〉

神山 弘行 [社会文化科学研究科]

主要先進国における住宅・不動産保有税制の研究：歴史的変遷と現行制度ならびに我が国への示唆——日本住宅総合センター，2011.6 (349.55/K)

神立春樹 [名誉教授]

地域住民の生産と生活：明治大正期村是調査書による検討——教育文献刊行会，2010.12 (611.921/C)

鐸木道剛 [社会文化科学研究科]

東アジアの「もの」と「秩序」——岡山大学社会文化科学研究科，2010.3 (302.2/H)

高橋文博 [社会文化科学研究科]

近代日本の倫理思想：主従道徳と国家——思文閣出版，2012.9 (150.21/T)

<鹿田分館>

谷垣静子 [鹿田分館長]

統合分野におかれた在宅看護学の教育カリキュラムに関する現状と課題に関する研究報告書——サーベイリサーチセンター, 2009.5 (490.7/NA)

山本和秀 [医歯薬学総合研究科]

わが国における急性肝炎の現状：全国調査 2008-2011
——中外医学社, 2012.10 (493.4/WA)

岡山大学出版会からの寄贈図書リスト

清水幸登, 大西勝 [保健管理センター]

キャンパスライフとメンタルヘルス ——岡山大学出版会, 2012.12 (F493.7/K)

(敬称略五十音順)

会議

◆学外

- | | | | |
|-------------|--|---------|--|
| 24.10.16 | 第15回国立国会図書館と大学図書館との連絡会及び第13回学位論文電子化に関するワーキンググループ
(於 国立国会図書館関西館) | 24.12.3 | 平成24年度国立大学図書館協会シンポジウム
(於 千葉大学) |
| 24.11.16 | 第71回国公立大学図書館協力委員会
(於 慶應義塾大学三田キャンパス) | 25.1.23 | 第14回学位論文電子化の諸問題に関するワーキング(於 国立国会図書館関西館) |
| 24.11.16 | 平成24年度国立大学図書館協会中国四国地区協会実務者会議(於 愛媛大学) | 25.1.24 | 平成24年度国立大学図書館協会学術情報流通セミナー(於 東京大学) |
| 24.11.21~22 | 第48回日本医学図書館協会中国・四国地区会総会(於 岡山大学) | 25.2.4 | 平成24年度目録情報システム/ILLシステム講習会担当者会議(於 国立情報学研究所) |
| 24.11.30 | 平成24年度中国四国地区国立大学図書館所管部課長会議(於 岡山大学) | 25.2.8 | 平成24年度国立大学図書館協会中国四国地区協会事業委員会(於 岡山大学) |
| | | 25.2.15 | 岡山県大学図書館協議会研修委員会
(於 岡山大学) |

◆学内

- | | | | |
|----------|----------------------|---------|----------------------|
| 24.11.26 | 平成24年度第3回 附属図書館運営委員会 | 25.2.28 | 平成24年度第4回 附属図書館運営委員会 |
|----------|----------------------|---------|----------------------|

研修

- ・第53回中国四国地区大学図書館研究集会
参加者 山本 聡之、遠矢 厚志 (24.10.11-12)
- ・資料保存シンポジウム
参加者 川上 研三 (10.22)
- ・男女共同参画管理職セミナー
参加者 富田 健市、山根 博 (10.24)
- ・岡山県図書館協会教養講座
参加者 依田 典子 (10.24)
- ・社会貢献・地域連携(まちなかキャンパス事業)に関するワークショップ
参加者 大園 隼彦、浪花 悠夏子 (10.27-28)
- ・岡山大学中堅職員研修
参加者 浪花 悠夏子 (11.15)
- ・全国遺跡資料リポジトリ・シンポジウム
参加者 大元 利彦 (11.16)
- ・SPARC Japan セミナー
参加者 大園 隼彦 (11.25-26)
- ・DRF 地域ワークショップ(中国・四国地区)
参加者 田中 智 (25.2.1)
- ・メンタルヘルスクライシス マネジメント研修
参加者 富田 健市、大元 利彦、山根 博 (2.7)

編集委員会から

今号が完成する頃にはもう冬が終わり春らしくなっているでしょうか。新年度には中央図書館・鹿田分館の改修が控えています。現在の予定では、8月中に工事が開始され、3月末に完成ということになっており、8ヶ月間に及ぶ改修工事の後、平成26年4月頃にリニューアルオープンとなる予定です。改築ではなく改修のため現在の建物を活かしたりリニューアルとなり、時計塔や櫓の木等はそのままに、多機能化した新図書館を皆様に見ていただけたと思います。その時にはこの「櫓」でも大々的に紹介する予定です。どうぞお楽しみに！(T.F.)

岡山大学附属図書館報「櫓」 No.56 平成25年2月28日

発行人 富田健市 編集 広報誌編集委員会

岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1 電話 086-252-1111

ホームページ URL <http://www.lib.okayama-u.ac.jp/>